



吹田市議会議員

政策マニフェスト全項目(2)

政策リーフレットに紙面の制限で載せきれなかった全項目を發表します。

4つの約束を掲げています。4回に分けてお届けしますのでご覧ください！

※ いけぶち佐知子『政策リーフレット』(WEBでも閲覧可能)



みえる、まもる、ささえる、つくる

- 市政が見える
- いのちを守る
- ひとを支える
- まちをつくる

約束

いのちを守る

防災・防犯と安全・安心の暮らし



大阪府北部地震や大型台風に襲われ、災害への備えや避難意識が高まりました。個人でできること、地域でできること、行政で担うべき項目を洗い出し、安全・安心、命とくらしを守ります

防災・減災

● 災害時対応機能を備えた公園を増やします

災害時、避難集合場所となる遊園・公園に、心のよりどころとなる自然エネルギーを使った灯りの設置を求めます。より多くの人が集まる避難場所には、かまどベンチ、マンホールトイレなど災害時対応機能を備えるよう求めます。

【吹田市の現状】

公園(広域、総合、地区、近隣、街区)131か所のうち、防災施設設置

公園(街角防災ふれあい広場)14か所

*災害用トイレ・かまどベンチ・収納ベンチ・ソーラー照明のいずれかがあるソーラー照明のある公園・遊園は15か所(街角防災ふれあい広場と重複あり)



復興の基金

● 災害復興基金の設置を提案します

2018年発生地震・台風による被害に対し、歳出削減予算の予備費(3千万円)では賄いきれず、追加予算の捻出が必要でした。災害復興基金を設置し、ふるさと納税での基金積み立てを提案します。

【先進事例】 ※ 藤沢市HPから引用

「藤沢市災害復興基金は、藤沢市災害復興条例の基本理念に基づき、市民生活の復興及び災害からの復旧を迅速かつ円滑に進めるため2015年(平成27年)4月1日に設置しました。この基金は、市の財源と市民の寄付金などによって5億円を目標に積み立てを行います。」



タイムライン

● 台風に乗ったタイムライン策定を求めます

地域防災計画が策定され、災害時対応が計画的に進められるようになっていますが、台風などあらかじめ準備できる災害に対し、「いつ」「なにを」「だれが」「どうする」を時系列でまとめたタイムラインが有効です。行政、協力団体、市民も予測に基づいた、早めの行動が命を守ります。



● 議会の業務継続計画（BCP）の策定を提案します

市議会では発災時の緊急連絡網の作成に加え、災害状況や情報の議長への集約及び災害対策本部情報が議長を通じ各議員に提供されることになっています。

災害発生前後に議会や議会運営委員会を開催する必要があるか、ないか、また開催するときの手順など、議会として、いつ、どのようなときに、なにをしなければならないか、をあらかじめ決めておく必要があります。

議会の災害時行動指針 策定 46% 【データ:「議会改革度調査2017」早稲田大学マニフェスト研究所】

安全・安心

● 親子、高齢者向け自転車安全教育を促進します

自転車は手軽な移動手段として活用されていますが、交通事故件数中、自転車関連交通事故は約2割を占め、死傷者数の約半数が未成年と高齢者といわれています。

幼稚園、保育園、こども園、高齢クラブと連携した安全教室の開催を求めます。



● 安心して学べる学校を求めます

学校施設は、災害時の地域住民の避難所等にもなることから、耐震化及び防災機能の強化を推進します。また、児童生徒等が健康で快適に学校生活を送れるように、「学校保健安全法」に基づいて、学校環境衛生基準に従った検査を行います。

【吹田市の現状】 ※ 2018年11月議会答弁から

「学校保健安全法」の学校環境衛生基準に定められた環境衛生検査の対象46項目のうち、現在29項目を実施。アレルギーのある子どもたちが増えています。ダニまたはダニアレルゲンの検査は未実施です。

情報の提供

● 必要な情報が必要な人に届くよう提案します

ネット情報やSNS情報で、速やかに情報入手できるようになりました。

一方、デマ情報が拡散される危険性もあり、信頼できる確かな情報を市民に伝える、伝わるシステムが必要です。また、ネット難民と呼ばれるネットを活用できない方にも情報が伝わるのが大事です。普段、災害時、緊急時、様々な時に適切な情報を入手できるよう、市内の公共施設にクラウド型デジタルサイネージ(電子看板)を設置するよう提案します。

★「いけぶち佐知子通信～未来にまっすぐ～」はマニフェスト全項目を4回に分載します★



■ いけぶち佐知子のプロフィール

子育て、環境、福祉、まちづくりの市民活動にかかわる
「女性を議会に！無党派・市民派ネットワーク」運営スタッフ
百条委員会委員(2012～2013年度)
吹田市監査委員(2013年度)

1957年/和歌山県生まれ
1979年/大阪大学薬学部卒業し、薬剤師免許取得
1999年/市民のための政治を求め立候補し、初当選
2015年～吹田市議会議員(5期目)
2016年/吹田女性議員の会提案により、議会傍聴時の保育を実現
2017年/議会広報委員として『市議会NAVI』を作成